

## 第86回 研究倫理審査委員会【議事要旨】

日 時 平成29年3月9日(木)  
午後13時30分～午後15時30分

場 所 本学 大会議室

出席者 (外部委員) 内藤 富夫 委員  
秦 美恵子 委員(欠席)  
三宅 孝之 委員  
(内部委員) 若崎 淳子 委員長  
佐藤 公子 副委員長  
橋本 由里 委員  
秦 幸吉 委員(途中退席)  
藤田 小矢香 委員  
(記録) 宇原 均(事務室管理課)

秦幸吉委員はNo. 196の審査のみ参加した。

No. 196の審査について、佐藤副委員長は申請者のため、若崎委員長は共同研究者のため審査から除外した。

No. 197の審査について、若崎委員長は共同研究者のため審査から除外した。

### 〈議事〉

#### 1. 申請書(3件)の審査について

##### 1) No. 196

申請者：佐藤 公子

課題名：ストレスと歯周疾患の関連性の明確化による保健指導方法の検討

結果：【承認】とする。

なお、判定結果を伝える際に以下を申し添えた。

- ・データの処理についてUSB、CDもシュレッダーとなっているので適正な処理方法に訂正をすることを検討されたい。
- ・誤字について修正を検討されたい。

(主なヒアリング内容)

(委員) 対象者の時間的な拘束についてどうお考えか?

(申請者) ガムを噛んでもらい唾液を採取する。味もないガムであり唾液が出てくる。そんなに大量にとる必要もない。10分から15分くらいか。そんなに負担はないと考える。キットになっていて手も汚れない。検査日の朝採取してもらうので、前日にキットを渡しておく。

(委員) P3の6行目、データはUSB、CDなどすべてシュレッダーにかけるとなっているが、USBやCDは破壊するもしくは消去す

る等ではないか。  
(申請者) 修正します。

2) No. 197

申請者：二上 真子

課題名：過疎地域型二次医療圏に暮らす高齢がん患者の治療継続を支えた要因

結果：【承認】とする。

なお、判定結果を伝える際に以下を申し添えた。

- ・段落の有無や誤字について修正を検討されたい。
- ・句点がある部分とない部分があるので修正を検討されたい。

(主なヒアリング内容)

(委員) 保管場所は共同研修者や他の人が開けることがあるか。

(申請者) 代表研修者のみである。

(委員) インタビューの所要時間が30分から1時間とあるが、30分で終わることがあるのか？内容から推測するに、30分では終わらないように思う。

(申請者) 1時間を超えると苦痛であろうと考え、一般的に妥当と思われる時間を考え記載した。

(委員) P8のインタビューガイドについて15行目、『ご自宅からその病院まで通院時間とどのような手段で・・・』の部分はわかりづらいので検討いただきたい。

(申請者) 訂正したい。

3) No. 195

申請者：金山 俊介

課題名：小児期ネフローゼ症候群患者へのステロイド投与に対する看護師の認識に関する研究

結果：【承認】とする。

なお、判定結果を伝える際に以下を申し添えた。

- ・ヒアリングで指摘のあった部分について修正を検討されたい。

(主なヒアリング内容)

(委員) 同意した後に、撤回できるのはいつまでか。いつまでかの記載を。

(申請者) 質問票を配布して回収するまでである。記載する。

(委員) P13の下から4行目『研究協力者』とは？

(申請者) 誤りであり削除する。

(委員) 研究事務局とは？データ管理を行うのか。

(申請者) 問い合わせ窓口である。データ管理者とは異なる。

## 2. 迅速審査で承認した申請（5件）の報告について

以下の5件について迅速審査で承認したことを報告した。

①No. 190

申請者：馬庭祐子

課題名：在宅で生活する嚥下障害がある要介護高齢者に対する主介護者の食に関する介護負担の要因

②No. 191

申請者：吉松恵子

課題名：訪問看護ステーションにおけるリスク管理に対する訪問看護師の認識と行動

③No. 193

申請者：阿川啓子

課題名：中山間過疎地域での在宅終末期ケアにおける看護師の役割

④No. 187

申請者：小田美紀子

課題名：企業に勤める社会人とその家族に対するヘルスツーリズムを活用したメンタルヘルス対策

⑤No. 180

申請者：石橋照子

課題名：糖尿病療養者に対するうつ予防のためのヘルスツーリズム実施による効果の検証

## ・ 任期満了について

3月末をもって委員の任期満了である。4月以降は新体制での委員会となる。

～ 以上 ～

議事記録者名(事務室管理課：宇原 均)